

# 迷いながらも一歩前へ

牛久市 渋谷 慶子

戸惑いながらこの原稿を書きました。産業カウンセラー資格取得は2013年2月ですが、10年以上経過しているのですが、その自覚はなく、正直に言えば「もうそんなに経ってしまったのか」というところです。そんな私に茨城事務所の方からお声がけがあり、冒頭の言葉につながります。

## 出会い

もともと30年間国家公務員行政事務職をしていました。地方組織の人事課に所属していた時に「外部から職員への苦情」電話担当になり、その後「職場カウンセラー養成研修」（5日間）を受講することに。ここで出会った日本産業カウンセラー協会の講師の方々がとても素敵で、私を産業カウンセラー資格に結び付けるきっかけとなりました。

「職場カウンセラー」とはラインケアの補助とでもいうのでしょうか、専門カウンセラーや医療機関に繋ぐ前段階の立場で職場内において気軽に相談できる人として存

在するものです。実際は職場カウンセラーというよりラインケアとしての活動の方が圧倒的に多かったです。職場にいらした専門カウンセラーの先生は今でも私の憧れです。

## 産業カウンセラー資格

心理学的知識がほとんどない私が人の話を聴いていいのか、と不安がありました。その頃茨城県ひたちなか市の事務所に勤務していましたので、放送大学の学習施設がある茨城大学キャンパスをスクーリング拠点として心理学を学ぶことにしました。松戸の事務所に転勤になってからは、北千住の足立学習センターに拠点を移し、と書く

と格好いいですが、蓋を開ければ認定心理士認定資格取得まで7年以上かけていたということです。

産業カウンセラー資格の取得は、東日本大震災発災後の災害対策業務の中で現場活動を経験した職員の言葉に、私のできることは何かを考えてのことでした。興味本位で受けた心理学検定2級も私の気持ちになりました。子どもの学費も気になりましたが「定年を考えずに活動できる」ことも大きかったです。家族の協力を感謝しなさいですね。

## 次への模索

産業カウンセラー資格取得後に「給料は



欲しいが社会貢献もしたい」という気持ち  
が強くなり、国の事業にモチベーションの  
行き詰まりを感じ始めていて、国家公務員  
以外を知りたいと退職を決めたのですが、  
結局は地元の自治体に非常勤職員として勤  
務することになりました。

ただ、国の行政と地方自治の違いの大き  
さ、住民との近さをみっちり学ぶ場とな  
り、後の職業につながっていったのです。  
精神保健福祉士の存在も自治体で知りまし  
た。自治体は約2年間勤務しましたが、東  
日本大震災の復興事業に係わる任期付国家  
公務員募集が関東であり、採用され、放射  
能汚染ゴミ問題に対処する自治体職員のお  
手伝いをさせていただきました（本音は給  
料も魅力でした）。

自治の現場で行き場のないやりきれない  
気持ちを聴く機会が幾度となくありまし  
た。職場内では考え方の相違からまとも  
なく動く場面もあり、私は業務の先の見通  
し、今の問題、その他雑談など、職場で話  
す機会を多く持つことにしていました。こ  
の行動を通して相互に気持ちを通じていく  
感触を得られたことは、私の相談の基盤と  
なっています。この職場に入った頃にある  
団体の電話相談員の養成研修も受け始め

した。

### 福祉の勉強

任期付国家公務員2年目に精神保健福  
祉士の国家資格を目指そうと、松戸市の  
通信大学に入学しました。始めてみると  
1600字のレポート提出が全く進まず放  
置する状況が続きました。当時54歳。レ  
ポート提出に手間取り、いつしか教科書か  
ら遠ざかり、何とか字数を揃えて提出する  
もD評価（落第点）をいただきがつくりす  
る。けれど再提出しなければ試験も受けら  
れず単位も取れないわけで、単位が揃わな  
ければ資格試験受験要件である実習にも出  
られません。8年目の2023年にやっと  
実習に行き、精神障害者施設や精神科デイ  
ケアを体験できました。もちろん資格試験  
も受験し、3月の結果待ちの状況です。

### 現場へ

任期付国家公務員4年目の冬、産業カウ  
ンセラー協会関東支部からのメールで、  
自治体の女性相談が相談員を募集している  
ことを知り、応募しました。週1日勤務の  
条件で採用され、まずは経験、と公務員  
を辞めて相談業務に飛び込みました。実は

私、支部の認定カウンセラー資格を取りた  
くて受験していたのですが、連続で不合格  
をいただいていた。自治体の女性相談  
員を始めた年の暮れに3度目の試験を申し  
込み、ようやく合格できたのです。おかげ  
さまで電話相談と面談の現場である自治体  
の女性相談員は翌年から週3〜4日勤務と  
なり、今も続いています。

福祉の勉強に携わったことで相談者を理  
解する眼が広がったように感じています。  
今、ある団体の電話とSNSの相談をボラ  
ンティアで活動しています。どの現場でも  
相談者さんの話を聴き、相談者さんに教え  
ていただき、何かをお返しできればいいな、  
と思います。

